

平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月2日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7446 URL http://www.t-kagaku.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘  
 問合せ先責任者(役職名) 管理グループ経理部長 (氏名) 小寺 伸哉 (TEL) 0172-33-8131  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	15,912	14.2	242	95.1	255	95.9	162	62.9
25年9月期第2四半期	13,938	38.8	124	△3.4	130	△29.6	99	14.9

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 162百万円(△26.0%) 25年9月期第2四半期 220百万円(68.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	34.62	—
25年9月期第2四半期	21.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	14,454	4,499	31.1	957.49
25年9月期	12,791	4,392	34.3	934.80

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 4,499百万円 25年9月期 4,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年9月期	—	0.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	6.2	300	64.7	330	65.8	150	55.8	31.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年9月期2Q	4,800,000株	25年9月期	4,800,000株
26年9月期2Q	101,075株	25年9月期	100,877株
26年9月期2Q	4,699,042株	25年9月期2Q	4,744,323株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策などにより、円安・株高が進み、景気回復の兆しが見られたものの、海外経済の下振れ懸念など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

この結果、前年同四半期と比べ売上高は、消費税増税による駆け込み需要もあり159億12百万円と19億73百万円(14.2%)の増収、営業利益は、2億42百万円と1億18百万円(95.1%)の増益、経常利益は、2億55百万円と1億25百万円(95.9%)の増益、四半期純利益は、1億62百万円と62百万円(62.9%)の増益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

## (化学工業薬品)

化学工業薬品は医薬品業界への販売増等があり前年同四半期を上回りました。また、同関連機器も大学等への受注が増加したことや民間の設備投資が活発になったことで前年同四半期を大きく上回りました。この結果、売上高は、全体で68億63百万円と10億96百万円(19.0%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は6億24百万円と64百万円(11.5%)の増益となりました。

## (臨床検査試薬)

臨床検査試薬は在庫調整などにより前年同四半期を下回りました。しかし、同関連機器は大型案件などがあり前年同四半期を上回ることができました。この結果、売上高は、全体で71億14百万円と6億9百万円(9.4%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は6億71百万円と35百万円(5.6%)の増益となりました。

## (食品)

食品添加物は円高による材料高騰など厳しい環境でありましたが、前年同四半期を上回りました。この結果、売上高は、15億67百万円と1億29百万円(9.0%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は1億35百万円と17百万円(14.8%)の増益となりました。

## (その他)

その他は価格競争の激化などにより厳しい環境でありましたが、消費税増税による駆け込み需要もあり前年同四半期を大きく上回りました。この結果、売上高は3億66百万円と1億38百万円(60.4%)の増収、しかしながらセグメント利益(売上総利益)はリベートが減少した影響などで18百万円と25百万円(△57.2%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、16億63百万円増加し、144億54百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、15億56百万円増加し、99億55百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億6百万円増加し、44億99百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、消費税増税による駆け込み需要などにより売上高が大きく増加したことなどにより受取手形及び売掛金が9億74百万円、現金及び預金が6億93百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、消費税増税による駆け込み需要などにより仕入高が大きく増加したことなどにより支払手形及び買掛金が14億74百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、利益剰余金が1億6百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、7億14百万円増加し、13億18百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は8億8百万円(前年同四半期は、5億45百万円の取得)となりました。主な要因は、売上債権の増加額9億71百万円、仕入債務の増加額14億75百万円及び税金等調整前四半期純利益2億75百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、得られた資金は12百万円(前年同四半期は、86百万円の取得)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出34百万円等があったものの、投資事業組合分配金による収入37百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億5百万円(前年同四半期は、1億62百万円の使用)となりました。主な要因は、配当金の支払額56百万円及び長期借入金の返済による支出34百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第2四半期までの業績動向を踏まえ、平成25年11月14日に公表した平成26年9月期の通期予想につきましては、計画どおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
重要なものはありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	861,078	1,554,196
受取手形及び売掛金	6,262,655	7,237,012
商品	800,229	708,613
繰延税金資産	14,834	19,303
その他	265,580	302,567
貸倒引当金	△4,944	△878
流動資産合計	8,199,433	9,820,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	471,738	468,359
土地	1,661,832	1,661,832
リース資産(純額)	104,299	94,798
その他(純額)	265,361	287,258
有形固定資産合計	2,503,232	2,512,249
無形固定資産		
のれん	129,792	113,568
その他	17,271	17,232
無形固定資産合計	147,063	130,800
投資その他の資産		
投資有価証券	893,247	890,067
リース投資資産	208,659	242,794
その他	863,292	894,920
貸倒引当金	△23,208	△36,706
投資その他の資産合計	1,941,992	1,991,075
固定資産合計	4,592,288	4,634,125
資産合計	12,791,721	14,454,939
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,576,963	8,051,206
短期借入金	430,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	68,760	68,760
リース債務	125,526	141,680
未払法人税等	51,227	116,529
賞与引当金	52,910	57,610
その他	121,288	141,127
流動負債合計	7,426,676	9,006,913
固定負債		
長期借入金	327,180	292,800



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
リース債務	281,723	307,250
繰延税金負債	103,855	112,309
退職給付引当金	74,702	55,600
役員退職慰労引当金	152,188	149,547
その他	32,648	31,340
固定負債合計	972,298	948,849
負債合計	8,398,975	9,955,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,514,935	2,621,225
自己株式	△46,196	△46,313
株主資本合計	4,170,238	4,276,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,507	222,764
その他の包括利益累計額合計	222,507	222,764
純資産合計	4,392,746	4,499,176
負債純資産合計	12,791,721	14,454,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	13,938,713	15,912,380
売上原価	12,580,048	14,461,776
売上総利益	1,358,664	1,450,604
販売費及び一般管理費	1,234,214	1,207,809
営業利益	124,450	242,794
営業外収益		
受取利息	1,896	2,699
受取配当金	3,863	4,583
受取手数料	2,900	5,348
持分法による投資利益	358	—
その他	9,707	4,740
営業外収益合計	18,726	17,372
営業外費用		
支払利息	12,116	2,841
売上割引	—	1,743
持分法による投資損失	—	19
その他	714	186
営業外費用合計	12,830	4,791
経常利益	130,345	255,375
特別利益		
固定資産売却益	—	313
投資事業組合運用益	1,669	22,805
受取和解金	—	4,477
段階取得に係る差益	22,500	—
特別利益合計	24,169	27,596
特別損失		
固定資産除却損	250	775
会員権評価損	—	1,425
リース解約損	—	4,835
その他	1,983	—
特別損失合計	2,233	7,036
税金等調整前四半期純利益	152,282	275,935
法人税、住民税及び事業税	62,841	112,341
法人税等調整額	△10,415	914
法人税等合計	52,425	113,255
少数株主損益調整前四半期純利益	99,856	162,679
四半期純利益	99,856	162,679

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	99,856	162,679
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120,407	256
その他の包括利益合計	120,407	256
四半期包括利益	220,264	162,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,264	162,936
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	152,282	275,935
減価償却費	41,866	39,226
投資事業組合運用損益(△は益)	△1,669	△22,805
引当金の増減額(△は減少)	17,800	△7,610
受取利息及び受取配当金	△5,759	△7,282
支払利息	12,116	2,841
持分法による投資損益(△は益)	△358	19
固定資産除売却損益(△は益)	250	462
段階取得に係る差損益(△は益)	△22,500	—
のれん償却額	16,224	16,224
売上債権の増減額(△は増加)	374,740	△971,240
たな卸資産の増減額(△は増加)	△131,889	91,616
仕入債務の増減額(△は減少)	206,323	1,475,125
その他	△39,098	△41,551
小計	620,328	850,959
利息及び配当金の受取額	6,225	7,886
利息の支払額	△12,086	△2,849
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△69,419	△47,860
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,048	808,135
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,535	△34,287
無形固定資産の取得による支出	△1,450	△1,990
投資有価証券の取得による支出	△12,889	△8,276
投資事業組合からの分配による収入	—	37,900
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	105,138	—
その他	8,042	18,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	86,306	12,236
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	76,072	2,460,000
短期借入金の返済による支出	△50,072	△2,460,000
長期借入金の返済による支出	△79,014	△34,380
配当金の支払額	△55,926	△56,135
自己株式の取得による支出	△39,285	△116
その他	△14,442	△15,324
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,668	△105,957
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	468,686	714,415
現金及び現金同等物の期首残高	1,209,237	604,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,677,924	1,318,490

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

平成24年10月1日付で株式会社日栄東海が連結子会社となりました。

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,767,057	6,504,468	1,438,490	228,697	13,938,713	—	13,938,713
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,767,057	6,504,468	1,438,490	228,697	13,938,713	—	13,938,713
セグメント利益	560,074	635,945	118,265	44,378	1,358,664	—	1,358,664

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間で株式会社日栄東海の株式を追加取得したため、のれんが1億62百万円発生しておりますが、特定の報告セグメントには関連づけてはおりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,863,563	7,114,325	1,567,714	366,776	15,912,380	—	15,912,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,863,563	7,114,325	1,567,714	366,776	15,912,380	—	15,912,380
セグメント利益	624,498	671,381	135,750	18,973	1,450,604	—	1,450,604

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。